

## 10月定例教育委員会会議録

- 1 開催日時 平成23年10月28日（水）13時57分～15時19分
- 2 開催場所 武雄市役所 4階会議室
- 3 出席者名 教育委員：諸石委員長、古場委員長職務代理者、檜崎委員、猪村委員、浦郷教育長  
事務局：浦郷教育部長、馬渡こども部長、山下教育総務課長、小野学校教育課長、  
一丸未来課課長代理、原田文化・学習課参事、杉原図書館・歴史資料館館長、  
森学校教育課参事、森青少年係長
- 4 傍聴者数 なし
- 5 報道関係者 なし
- 6 議事録署名人の指名
- 7 前回会議録の承認 平成23年9月定例教育委員会会議録
- 8 教育長の報告
- 9 議 事  
第24号議案 武雄市家庭・学校・地域連携支援体制づくり推進事業費補助金交付要綱
- 10 その他  
ア. 各課等からの報告  
イ. 次回開催日程について  
ウ. その他
- 11 会議録

### 午後1時57 開会

#### ○委員長

ちょっと定刻前ですが、10月の定例の教育委員会を始めたいと思います。

何となく気温の朝晩の差というのが、日較差が本当に大きいようでございます。しかし、確実に木々も色づいてきているようで、秋が深まってきているようでございます。

では、委員会を始めたいと思います。

まず、きょうはこのレジュメのところで4番目、教育長の報告の後に議事が1件ございますので、それを審議したいと思います。そして、その後、その他に入りたいと思います。

では、記事録署名人の指名ですが、この次は檜崎委員さんだと思います。お願いいたします。

前回の会議録の承認です。よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

そしたら、以上、御意見ありませんので、承認といたします。

では、4番目の教育長の報告です。教育長、お願いいたします。

#### ○教育長

それじゃ、失礼します。前回以降のことについて報告をいたします。

1ページのところでございます。

今月、ICT教育関係のことが幾つかございまして、一つは、県内約50人で先進的ICT利活用教育先進国ということでシンガポールを視察いたしました。詳しくは省きますけれども、国を挙げての推進体制というのを見ることができたところでございます。

それから、24日には山内東小におきましてデジタル教科書の説明会を市内外から約80名ほどの参加で開催しております。今年度から使用しているデジタル教科書でございます。

それから、県のほうでも10日にICT教育を考えるセミナーというのがアバンセで開催されまして、国、県ともに非常にICT教育については推進がなされているというところでございます。

それから、あと担当のほうから詳しく話していただくかわかりませんが、今後を左右するような会議としまして、図書館のデジタル化推進協議会、あるいはおつぼ山の整備計画策定委員会というような大事な会議も今月開かれたところでございます。

それから、人事関係では、応募指名制度、FA制度の募集等がもうあっておりました。市内からは「こんな先生が欲しい」ということで小学校、中学校3校が応募をしております。

それから、スーパーティーチャーの募集もあってありますし、管理職の2次試験等も行われたところでございます。

それから、秋は表彰の季節でもございまして、溝口勝元校長先生が高齢者叙勲を受賞されましたし、大石前教育委員長様が文部大臣表彰を受けられました。それから、県の教育委員会表彰としては、通知が来ておりますのは、武雄小学校、光武校長先生、御船が丘小、山口修平校長先生、それから文化財関係で小池英毅先生の3名の表彰がきております。また、県教育長表彰も小中学校で3名の先生方が受賞される予定になっております。

それから、報告じゃございませんが、今度7日に杵西管内の教育長会がありまして、その折に佐賀新聞社とのNIE教育に関する協定を締結する予定にしております。単独じゃなくて杵西管内2市4町同時に締結しようということで、新聞の利活用が特別許可申請なく活用できるとかいろいろメリットがあるようでありますし、負担する分はほとんどないということで締結予定にしております。

それから、今月は土曜学校、それから英語スペシャル等を開始いたしまして、この後、課長から報告してもらいますけれども、順調にというか、非常に子どもたち熱心に取り組んでいるという状況を聞いております。

切れることなく非常にいろんな事業続きますけれども、内容を深めていきたいというふうに考えております。

以上です。

## ○委員長

本当に行事もあわせていろいろされるようでございます。

何か質問ございませんか。よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

じゃ、この後の説明もあるかと思っておりますので、またあればそのときにもお願いいたします。

では、議事が1つだけあります。皆さん方のお手元に教育委員会（その2）というのがあると思います。それについての提案を教育総務課長さんお願いいたします。

## ○教育総務課長

それでは、お手元に配付しております教育委員会（その2）という資料をあけていただきまして、第24号議案 武雄市家庭・学校・地域連携支援体制づくり推進事業費補助金交付要綱の制定について御提案をいたします。

1ページのほうでございしますが、要綱制定の趣旨といたしまして、生徒指導上の課題や不登校児童、生徒を多く抱える学校と家庭及び地域が連携をいたしまして課題の解決、子どもの学びや健やかな育ちを支援していくとともに、その支援活動及び支援体制づくりを行う実行委員会に対して補助金を交付するものでございます。

実行委員会の委員につきましては、第2条第1項各号に掲げております。及び必要に応じて2項で定めるもので構成すると。定数については定めておりません。

補助金の交付対象事業となる事業につきましては、第3条の第1項各号に掲げて掲載しております活動、学校支援の活動、家庭教育支援の活動、支援体制づくりに必要な活動、次のページですけれども、「子どもたちの育ち又は学びを育むことに資する活動」ということで4項ございます。それと2項のほうにあります各号に掲げております活動を1つ以上実施しなければならないということ。その

事業というのが以降に書いています学校支援活動の後、括弧書きで書かせた分でございます。その分を必ず1つ以上しなくてはいけないということでございます。

対象経費につきましては3ページのほうの別表に書いています。第4条関係でございますが、各科目別経費、報償費、旅費、需用費、役務費という形で、それに対する経費が補助対象になります。補助金額につきましては、上限を100万円といたしております。そのための交付申請等の事務手続及び様式については、第6条以降ずっと掲載をいたしております。3ページ以降、4ページから最終ページ10ページまででございますが、これについては様式等の設定をいたしております。

この分の予算措置につきましては、9月補正で予算化をいたしております。計画では、今年度から3年間、武雄中学校を事業対象校といたしまして取り組むことにいたしております。

以上、提案をいたします。御審議のほどよろしくお願いたします。

#### ○委員長

今提案がありましたけれども、質問ありませんか。

はい、A委員さんどうぞ。

#### ○A委員

確認ですが、今23年度から3年間で、対象は武雄中学校だけですか。ほかの中学校とか何か希望を出してきた場合は、26年度からまたこういうふうな事業を継続してやるということもあるんですかね。

#### ○学校教育課長

それでは、私のほうからお答えいたします。

対象は武雄中学校だけということになります。これは先ほど山下課長のほうからありました100万円のうち、県の補助金が50万円、市費が50万円ということで組んでおります。県のほうから来た事業に対して手を挙げることがあれば他の学校でも検討はしてみたいとは思いますが、今のところまだ検討中ということになります。

#### ○委員長

ほかに委員さんからありませんか。そしたら済みません、これは100万円を限度とするで、例えば、武雄中が50万円予算を立てたとしますと、あとの、例えば、どこかが30万円分の何かを活動として予算を要求してもいいんですか。

#### ○学校教育課長

いいえ、これは県の事業に対して手を挙げた武雄中学校で県費、市費合計の100万円ということで、単年度100万円で3年間ということになります。

#### ○委員長

これはもう各市内の学校に一応通知は行っているわけですか。今度11月26日に県P研究大会がありますが、そのときに武雄中学校の活動としてこれが出てくるようです。こんなことをしていますということで、だから学校周知とPTAの研修会でそれが出てくるとなると、やっぱりある程度PTA、保護者の方々の見方、考え方というのは、なぜ武雄中ばかりというような意見が出てきたりとか、そんなものがあっていたらなぜうちの学校はこうしないんだとかいろいろと意見も出るかもわかりませんので。

#### ○学校教育課長

はい、こういう事業があっているということについては全中学校のほうに、県下全部ですね、周知は行っております。しかし、なかなか実行委員会を立ち上げてこの100万円を使うだけの事業を行うということになりますと、やはり武雄中学校ぐらいの規模の学校が必要ではないかということもあまして、武雄中学校が名乗りを上げまして、市のほうとしても検討して、武雄中学校のほうでということになったと思います。

#### ○委員長

ありがとうございました。 教育長どうぞ。

## ○教育長

補足しますと、大体課長が話したとおりなんです、これが県では社会教育課が担当している事業ということで、あんまりない事業で、つまりPTAのほうへの支援、協議と、そちらをメインにした動きですね。

それから、確かに質問いただいた背景は、どの学校でもこういうのできないかというようなところも御意見としてあろうかと思えます。まさにそのとおりなんで、別の形ででもやれたらやりたいという思いはあるわけです。一つは、武雄中学校が既にいろんな地域の方の応援を得たり、あるいは応援団を組織したり、かなりの組織的な体制がこの計画をお願いする前からあったという状況もございまして、そしてまた、趣旨からいって、すぐ動ける、あるいはこれからもさらに充実させられる可能性があるというふうに判断したものですから、武雄中に取り組んでもらっているという状況です。

## ○委員長

ありがとうございました。では、よろしいでしょうか。

はい、A委員さんどうぞ。

## ○A委員

様式のこと、ちょっと細かい点で申しわけございません、10ページ、これは補助金交付請求書、これは概算払い請求書です。それで上のほうの真ん中ら辺の3のところに補助金の交付確定金額とありますけど、この時点では、まだ補助金の交付は実績報告を出した後だから、まだ交付確定はしていないんですよ。だからこの項目が要るのかなとちょっと思ったものですから。補助金の実績報告書を出して、そして市のほうから補助金の確定通知が行って額が確定するから、この概算払い請求書を出す段階ではまだ実績書が出ていないからですよ。この項目は特に必要じゃないんじゃないかなと思ったんです。

概算払いでも精算払いでもどっちでもよかということであれば、これよかわけです。結構です、済みません。

## ○教育総務課長

一応概算払いの請求もできる、同じような様式で両方とも使うということで、概算払いのときは交付確定金額については書かないということで、両方とも使えるような形で様式を定めたということでございます。

## ○A委員

はい、わかりました。

## ○委員長

やっぱりお金のことですから、確認に確認をしたいと思えます。

では、ほかにありませんか。よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

そしたら、この議事は可決いたしました。では、よろしくお願いいいたします。

では、次に進みますが、各課からの報告の次に、委員会の点検評価シートについて提案があります。あと、次回開催日ということになります。

では、各課からの報告をお願いいたします。

教育総務課お願いいいたします。

## ○教育総務課長

それでは、3ページのほうをお願いいたします。

9月28日以降の行事報告及び行事予定を報告いたします。

行事報告につきましては、先ほど教育長のほうから話がありました10月2日から5日まで、先進的ICT利活用教育先進国視察ということでシンガポールのほうへ教育長と学校教育課の竹内主幹が出席をされております。

それと10月20日、21日ですけど、九州都市教育長協議会定期総会・研究大会が島原市のほうで開催

をされました。教育長が出席をされております。

それと、行事予定でございますが、11月1日、2日、第2ブロック教育委員研究協議会が鹿児島市で開催をされます。委員さんの御出席をお願いいたしております。

3日の日ですけれども、平成23年度の武雄市教育委員会表彰の表彰式が文化会館のミーティングホールで10時から開催をされます。10分前には出席をお願いしたいと思っております。

それと、26日ですけれども、さっき委員長さんのほうからありました第57回佐賀県PTA研究大会武雄市大会が文化会館大ホールで開催をされる予定であります。

3番目の平成23年度上半期の分の評価については、各課の報告が済んだ後、御説明いたします。

以上でございます。

#### ○委員長

学校教育課どうぞ。

#### ○学校教育課長

それでは、学校教育課の報告をいたします。

まず、行事報告でございます。

9月30日でございますが、武雄の先輩に学ぶ講演会が川登中学校でシェイノの古賀純二さんをお招きして行われております。なお、30日の山内中学校「魅力ある学校づくり推進事業研究発表会」、これは削除をお願いしたいと思います。

10月5日、御船が丘小学校の新入学児童健康診断を皮切りに、市内10校で10月27日までの間に新入学児童健康診断が行われております。

続きまして、12日水曜日、川登中学校の学校訪問、同じく12日水曜日、16時10分から武雄中学校で武雄っ子英語スペシャリスト育成事業が開始されております。武雄中学校には23人が申し込んでおります。内訳は武雄中学校21人、北方中学校、川登中学校1名でございます。

なお、11月2日からは山内中学校の会場におきまして16人が受講予定でございます。

武雄中学校会場におきましては、非常に熱心に全部の生徒が受けておる状況でございます。

15日土曜日からは、市内5中学校におきまして土曜学習会が開始されております。当初の申し込んだ人数が市立中学校3年生のうち205名、これは中学校3年生の45%に当たります。その後、続々とまだ追加の希望というものもあっているようでございます。各中学校ともそれぞれ中学校が計画しました計画に基づきまして生徒が熱心に受講している姿が見受けられました。

それから、19日でございますが、これも訂正をお願いしたいと思います。西川登小学校「学校訪問」でございます。

続きまして、行事予定です。

10月31日、若木小学校で新入学児童健康診断がすべて終わる予定でございます。

4日には、山内中学校でセバスポールの水谷氏を迎えまして、先輩に学ぶ講演会。

11月8日、9日には北方中学校、武雄北中学校でシェイノの古賀先生をお招きして先輩に学ぶ講演会を計画しております。

16日には、北方中学校で学校訪問、22日には、山内東小学校で学校訪問を予定しております。

25日には、朝日小学校で英語活動の研究発表会が予定されております。

人事関係はここに書かれておるとおりでございます。

寄附採納につきましては、東西川登の婦人会のほうから川登中学校に図書カードを1万5,000円ずついただいております。

以上で終わります。

#### ○委員長

ありがとうございました。

では、文化・学習課、生涯学習係どうぞ。

#### ○文化・学習課参事

それでは、生涯学習係ですね、6ページです。

行事報告。

10月19日、市民大学が開催され、教育長が講師でiPadの関係でお話しされまして、好評のうちに終わったということです。

それから、20日です。全国公民館研究集会inさがということで21日までありました。

行事予定です。

10月30日、武内公民館関係ですね、日の出日の入耐久リレーマラソン大会、それから11月13日、青少年育成北方町民大会・少年の主張大会、北方公民館であります。

23日、第25回若木町湖水まつり、本部ダム広場で開催されます。

27日、武雄市青少年育成市民会議研究大会、文化会館で開催されます。

今月及び11月上旬にかけましては、各町で文化祭が開催される、あるいはされたという状況でございます。

続きまして、スポーツ係に移ります。

7ページをごらんいただきたいと思います。

行事報告です。

10月10日、11日、体力テストを行っております。

15日、第64回県民体育大会、16日まであつておりましたが、結果としては第6位になっております。点数391点ということでした。

行事予定です。

11月1日のところですね、連絡協議会の「第7回」と書いてありますが、これ「8回」の誤りです。訂正をお願いいたします。

11月6日、第18回武雄市さわやかスポーツレクリエーション祭が白岩体育館、それから保養村、そういうところで開催をされます。種目としては、ソフトバレーボール、それからミニテニス、ペタンク、パークゴルフの4種目となっております。

20日です。武雄温泉古希軟式野球交流大会が21日まで開催されます。現在、佐賀3チーム、福岡2チーム、長崎、大分、熊本、各1チームの8チームが参加をするということで、白岩球場と白岩グラウンド奥の広場ですね、その2会場で試合をするというふうに計画をしているところです。

続きまして、8ページ、文化芸術係でございます。

行事報告、10月12日、宝くじ文化公演、二人会ですね、400名の観衆がありました。

それから、15日、宝石箱コンサート、これにつきましては312名がありました。

それから、27日、昨日ですが、第30回の武雄市公募美術展覧会、きのう公開審査をしたところです。あすから展示で、一番に表彰式も行うということになっております。あすのことは行事予定でした。

それから、11月6日、宇宙少年団の武雄分団11月例会を開催します。

次のページ、9ページ、文化財係でございます。

行事報告、10月2日ですが、川古のクス防護柵贈呈式ということで、NPO三樹の会さんから3脚とっていいんでしょうか、寄贈をされております。

それから、7日古代山城サミット、8日まで、浦郷部長に出席をいただきました。

21日です。おつぼ山神籠石保存整備計画策定委員会を開催したところでございます。

行事予定です。

11月5日、ファミリーふれあい史跡めぐり、東川登公民館から歩いて正一位神社までのおよそ5.5キロを予定しているところです。

以上です。

## ○委員長

ありがとうございました。

では、図書館・歴史資料館お願いいたします。

## ○図書館・歴史資料館長

10ページをお願いします。

まず、ここに書いてありませんけれども、9月10日から10月16日まで、災害・災厄展を実施いたしました。好評のうちに終えることができました。ありがとうございました。

行事報告ですけれども、10月は4日、7日、12日、13日、ずっと8回にわたって全国の自治体から議会の議員さんたちがiPadについての視察をいただいております。また今後もそれが継続して行われるようになっております。

それから、先ほど教育長からもありましたように、10月24日に武雄市図書館デジタル化推進協議会を開催しました。東洋大の松原先生とか慶応の中村先生初め10名の委員さんたちに集まってお話しして、これから電子図書における法的あるいは技術的な課題をどう克服していくかということで熱心な御協議をいただきました。その協議に基づきながら私どももこれからまた進めていきたいというふうに考えております。

それから、子ども司書講座を9月17日から12月まで8回にわたって行うわけですけれども、ちょうど昨日から読書週間が「信じよう、本の力」というテーマで始まりました。11月9日までですけれども、その最初の日ということでNHKテレビ「ただいま佐賀」という番組ですけれども、子ども司書講座の活動が紹介されました。六、七分の番組だったんですけれども、子どもたちが図書館で子ども司書として活躍してくれている姿が放映されました。

それから、行事予定です。

先ほど机上にお配りしましたけれども、山口尚芳展というのを実施いたします。1871年、明治4年ですけれども、岩倉具視の米欧視察団の副使として随行した武雄市の山口尚芳について資料を集めまして展覧会を行うということです。テーマが、ちょっと駄じゃれになりますけれども、「知ってますか？山口尚芳」ということで、「ますか・尚芳」でいきたいということでちょっと遊びも入れています。ぜひ11月27日までですので、お越しいただければと思います。

それから、11月4日に大分県の日田市から、11月14日に日田の公民館から、それから15日に前橋からまた視察があります。

それから、読書の秋ということで、その取り組みとして、例年、読書感想文、感想画のコンクールをしているんですけれども、その審査会を10、11日、それから16日には感想画の審査会を図書館のほうで行いたいというふうに思います。

以上です。

## ○委員長

ありがとうございました。

では、未来課の青少年、子育て総合支援センター、あわせてどうぞお願いいたします。

## ○未来課課長代理

11ページの未来課の行事報告をいたします。

10月2日、わんぱくスクールの8回目です。文化会館、白岩運動公園周辺で行いました。

10月15日土曜日、秋のジュニアリーダー研修会を黒髪少年自然の家で1泊2日で行いまして、参加者21名となっています。

また戻りまして、10月4日武雄中・のぞみ幼稚園、育ちあい講座が武雄中学校でありました。同じ事業が5日山内中学校、7日武雄中学校、14日武雄中学校、18日北方中学校、19日山内中学校、21日山内中学校、25日北方中学校のほうでありました。27日は武雄高校でも2回目が、去年から始まりまして、2回目だそうです。

次のページの行事予定を説明していきますけれども、日程の変更の訂正をお願いしたいと思います。

6日のわんぱくスクールの9回目ですけれども、「13日」に変更になっています。

7日の市子連の理事会が「7日」になっていますけれども、「14日」に変更をお願いします。

行事予定の説明をします。

育ちあい講座ですけれども、10月28日が武雄高校、11月1日と8日が武雄中学校となっています。  
わんぱくスクールですけれども、9回目が13日保養村です。

11日が子育て親育ち講座の5回目が大集会室Aのほうであります。

26日発明クラブ<sup>⑩</sup>と書いてありますけれども、全国少年少女チャレンジ創造コンテスト全国大会がその日あります。このことについて担当のほうから説明をしたいと思います。

### ○青少年係長

それでは、御説明させていただきます。

お手元のほうにA4で3枚のプリントが届いているかと思います。第2回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト 全国大会出場チーム選考についてということで、社団法人発明協会創造性開発チームのほうから選考された旨の文書が届いております。これは、モーターとゴム動力を使ったハイブリットカーのコンテストでありまして、走行距離を競うものでございます。

ことしの8月、9月にロケットプロジェクトと並行してこの少年少女チャレンジ創造コンテストの準備を進めておったわけなんです、9月の中旬にその走行会をいたしまして、そのデータを発明協会のほうに送ったものでございます。その結果、武雄市少年少女発明クラブからは2チームが選ばれております。

3枚目をお開きください。

全国で60チーム選ばれている中の53番目と54番目、キララ1とひばり100が武雄市少年少女発明クラブでございます。2チームが選ばれております。ちなみに武雄市からは武雄市立山内中学校も選ばれておりまして、佐賀県からは武雄からだけだということで御報告申し上げます。26日に東京工業大学の大岡山キャンパスのほうで全国大会が行われる予定になっております。

ちなみに、この2チームでございますが、出身の学校につきましては、武雄小学校から2名、御船が丘小学校から2名、そして若木小学校から2名、すべて女の子でございます。男の子は残念ながら選考されませんでした。上位2チームが全国大会に行くということで、この場をおかりしまして御報告させていただきます。ありがとうございました。

### ○委員長

ありがとうございました。各課に対して御質問ありませんか。

未来課のほうにお尋ねですが、この発明創造コンテストの場合は市からも何か補助が準備してあるんですか。

### ○青少年係長

子どもたちと指導者の分については、この社団法人発明協会のほうから全部出ます。御招待という格好になりますので、市からは何もありません。保護者さんも応援に行きますということで手を挙げられていらっしゃる方もいらっしゃいます。その方は当然自費で行かれるようですけど。

### ○委員長

こういうふうに3グループとも行くというのを、これを何か市でもいいから広めていきたいような感じがいたします。

### ○青少年係長

そうですね、はい。今のところ、発明クラブのほうでは11月の中旬に市長を表敬訪問したいということで準備を進めているところでございます。まだ山内の中学校さんのほうとは連絡がとれていないんですけど、そういうところもわかれば御連絡したいと思っております。

### ○委員長

こういうふうに子どもたちが活動したときには、その後をきちんとほめてやり、またそれを広げてやると意欲につながっていくと思います。ありがとうございます。

何か質問ありませんか。

では、次に進みたいと思います。

今度は教育委員会点検・評価シート、上半期のことについて、山下課長お願いいたします。



## ○教育総務課長

それでは、お手元にお渡ししております23年度上半期分教育委員会点検・評価シートをお願いいたします。早目に配付をしたかったところがございますけれども、取りまとめに時間がかかりまして、遅くなりました。おわびを申し上げます。

それでは、平成23年度4月から9月までに実施をいたしました武雄市の教育の具体的施策ごとの取り組みについて、主なものだけ報告をしたいと思っています。ごく簡単にいきたいと思っています。

1 ページ目をお願いいたします。

重点事項の1、確かな学力の育成についてでございます。

(1)の学力の現状把握と評価・分析の課題といたしまして、中学3年生の学力が県平均を下回ったというようなことを踏まえまして、今回中学3年生の学力強化のために10月から土曜日を活用した学習会を実施するというようにいたしております。

(3)番の読書活動の推進といたしましては、②のiPad導入によるMY図書館が利用できるような環境整備を行ったと。

外国語教育の推進でございますが、ALTの活用事業につきましては、ALTの採用方法を変更いたしまして人材の確保に努めております。学校側からの評価も高いというようなことでいただいております。

次に、重点事項の2、豊かな心の育成についてでございますが、道徳教育の充実といたしまして、今まで「心のノート」の活用を図っておりましたが、ちょっと課題のほうに上がっておりますが、冊子の配布がなかったというふうなことでほかの教材を活用するというで考えております。

不登校につきましては、昨年と比較した場合35%減少をいたしております。小学校については横ばいであるという課題が出ております。

続きまして、5番目ですけれども、特色ある学校づくりの推進といたしまして、現在小学校9校、中学校1校で実施中でありまして。

次に、2ページのほうお願いをいたします。

重点事項の3、たくましい身体の育成及び重点事項の4ですね、幼・保・小・中の連携につきましては、今のところ計画どおり実施をされております。内容は記載されているとおりでございます。

それでは、3ページの教職員の資質や指導力の向上についてでございますが、(1)の分で交通加害事故を4件発生したと。病休者も新たに8名というようなことで、交通安全指導や労働時間の適正化を図るなどの対策が必要が出てきているということでございます。

続きまして、電子黒板、情報化の分ですね、ICT機器を活用した教育の推進でございますが、電子黒板、iPad等のICT機器の活用につきましては、利用状況の調査、活用効果等について啓発をしているところでございます。

2番目のUD——ユニバーサルデザイン教育の推進でございますが、現在、指導資料等の作成を行っております。あわせてエレベーターの設置を川登中学校で今現在やっております。11月完成ということで工事を進めているところでございます。

それと、環境に配慮した教育の推進でございますが、各学校でエコチャレンジ事業の目標を定めて現在推進をいたしております。

それと、太陽光発電の設備でございますが、これは武雄中学校の教室の改築工事にあわせて設置をする計画でございます。

4ページをお願いいたします。

青少年教育の推進でございますが、これはトムソーヤ事業を中心といたしまして、年間計画の中で随時実施をされているところでございます。

それと、5ページの生涯学習の推進でございますが、学習機会の提供として出前講座、現在78件の申し込みがっております。それと図書館・歴史資料館のサービスの向上といたしまして取り組んでおります図書館相互貸借システムの導入につきましては、相互貸借の申し込みがふえておるとい

とで事業効果が向上をいたしております。

あと、図書の電子化につきましては順次配信を進めております。一方で、著作権の問題等もありまして、読みたい図書の配信が難しい課題もあるということでございます。

6ページのほうをお願いいたします。

生涯スポーツの振興でございますが、生涯スポーツについては今のところ進捗いたしておりません。これから事業を取り組むという部分が多くなっております。

7ページでございますが、自主文化事業の充実といたしまして、これも例年やっておるわけですが、公募展、音楽祭、映画鑑賞、あとアウトリーチ、宝石箱コンサート、武雄市民ジュニアウインドオーケストラ育成事業、これを例年どおり計画的に行われております。

8ページをお願いいたします。

安全・安心な教育環境の整備につきましてでございますが、安全パトロールにつきましては、16校中9校で実施をされております。残り7校について指導をしていきたいと思っております。あと通学路の点検につきましては、夏季休業中に全学校で実施をされております。

それと、教育施設・設備の充実として、定期的な環境検査を行っております。

学校の整備につきましては、一応、武雄小学校の管理棟大規模改造工事が9月で完成をいたしました。武雄中学校の教室棟でございますが、これは来年の2月の完成に向けて整備を進めております。山内中学校の特別教室の大規模改造第1工事につきましては、夏休み期間中に完了をいたしております。川登中学校のエレベーター、ハートフルトイレ、スロープ等の設置工事につきましては、11月中旬に完成をする予定であります。

最後ですけれども、9ページをお願いいたします。

市民総参加による教育の推進でございますが、これは掲載のとおり計画的に実施をされております。

以上、簡単に説明をいたしましたけれども、課題、問題点の整理というのがまだできていない部分もでございます。全体的に年間を通して実施する事業につきましては計画的に進められているというふうには思っております。また新たな課題等もあわせて発生をいたしまして、当初計画よりもさらに具体化した形での事業の展開というのも出てきております。一応上半期分の点検評価として簡単に説明をいたしましたけれども、お気づきの点がございましたら御意見をいただきたいというふうに思っております。よろしく願いをいたします。

#### ○委員長

中間報告ですが、ちょっと。何か御質問等はありませんか。

#### ○A委員

済みません、1点よかですか。

#### ○委員長

はい、A委員さんどうぞ。

#### ○A委員

1ページの真ん中辺に、心のノートは冊子の配布がなかったため費用の問題から使用はほとんどできていないと。この心のノートの配布というのはどちらからあるのでしょうか。

#### ○学校教育課長

昨年までは文科省のほうから全子どもたちに立派な冊子の配布があっていたんですけども、文科省のほうで冊子の配布をしないということの方針が急遽決まりましたので。ただ、これを冊子として印刷するとなりますと、カラーですので、相当の費用等がかかるということになります。それで実質使用についてはかなり下がっているというのが現状だと思っております。

#### ○A委員

はい、わかりました。

#### ○委員長

ほかに御質問はございませんか。

私からですが、ICTがこのように進んでおりますが、現場の声でここに中学校の使用率の向上が課題であると。小学校も中学校でも裏の声は、これを研究しよっぎ難しか、もう自分でさっつとくつてしたほうがましというように、慣れないから、今までの慣れた分でしたほうが早かというように気持ちを持っておられる先生方もまだいらっしやるようですから、この辺せっかくICTとしての取り組みをなされておりますので、研修を何とかお願いしたいと思ひます。

**○学校教育課長**

教科によって調査をしましたところ、例へば、中学校でも理科などは非常によくスマートボード等も活用されておりますが、教科による差が多いようですので、各教科での研究を進めていきたいと思ひております。

**○C委員**

済みません、よろしいですか。

**○委員長**

はい、C委員さんどうぞ。

**○C委員**

4ページのトムソーヤ事業の推進のところですけども、武雄市次世代育成支援行動計画とございますが、余り存じ上げなくて質問をさせていただいております。次世代育成というところは、私も地域におりまして喫緊の課題のような気がいたしております。それで武雄市でもこのような次世代育成の支援を考えていただいているということで大変ありがたいと思ひておりますし、地域を担う、郷土を思ふ子どもたちが一人でも多く武雄市に育っていただきたいと思ひ一人でございますので、こちら辺の行動計画などもう少しお話を聞かせていただければありがたいと思ひておりますが、お願いいたします。

**○委員長**

トムソーヤの次世代育成支援行動計画ということですので、こども部長どうぞ。

**○こども部長**

次世代育成支援行動計画というのは、これはどちらかという福祉の分野でつくっている行動計画でございます、それは赤ちゃんから子ども、要するに18歳未満の子どもまでを対象としたいろんな市で行っている事業等があるわけですね。そういうのも全部一覧にした行動計画書というのを作成しております。トムソーヤプランというのもありますので、同じような計画書を幾つもつくるよりも、次世代行動計画がゼロ歳から18歳未満までやっていますので、その中の一部をトムソーヤプランとして取り扱おうということで、トムソーヤプランそのものはつくっていないという、次世代育成行動計画の中で一緒にやっていこうということでやっていますので、そういう意味で次世代育成支援行動計画の計画書なるものをちょっと準備したいと思ひますが、よろしいでしょうか。

**○C委員**

それと済みません。この武雄市トムソーヤ委員さんとこの行動計画の策定委員さんみたいなのはいらっしやるんですか。何人ぐらいでお話し合いをされているんですか。

**○委員長**

こども部長。

**○こども部長**

トムソーヤ委員会というのは委員会形式を持っておりまして、そのメンバーと次世代育成の行動計画が重複する方もいらっしやいますし、それぞれ別の方もいらっしやいます。

人数については済みません、ちょっと手元に資料がないので、今お答えできないんですが、今持ってくる計画の中で出てくるかなと思ひています。この冊子がありますので、皆さんにお配りをします。

**○C委員**

はい、お願いいたします。

**○委員長**

では、この件はいいですか。

○C委員

はい。

○委員長

では、ほかに何か御質問ございませんか。よろしいでしょうか。

5ページの図書館・歴史資料館のサービスの向上としたところの課題・問題点・改善点のところ、2番目ポツで、司書の数が他館に比べ少ないので、業務に追われることが多くなったというところは、もともと……

○図書館・歴史資料館長

もともと少ないです。規模的にですね。蔵書数と比較したら、全体的に比較をすると少ない数でやっております。したがって、一人一人の司書さんの貸出数は県でトップと。これはやっぱり少ないから。だからやっぱりその分司書さんとかがかなり多忙化しているということは言えます。

○委員長

蔵書数に対して司書さんが何人とかいうようになっているんですか。

○図書館・歴史資料館長

いや、それはないです。

○委員長

この辺も何とか、司書さんが増えれば、例えば、ちょっと何人が多くなれば仕事がスムーズにいくとか、何か今のところ滞っているとかそういうことはありませんか。

○図書館・歴史資料館長

今は司書の努力で何とかやっています。ただ、市長のほうからも幾らか開館日数をふやせないかというような打診もありますので、それをすると、司書さんが今後何名さんかふやさないとちょっとやっていけないかなという思いもあります。それは具体的にはまだしておりませんが。

○委員長

はい、B委員さんどうぞ。

○B委員

1点、4ページ目です。(3)義務教育期の体験学習の機会提供と支援のところの①の項目です。地域の進捗状況・成果・評価のところ、地域コミュニティ活性化事業として「地域活動の日」として4地区ということで、参加者数を419名と書いていただいているんですけども、これは地域活動の日の事業に参加している地区の方々の総数ということなんですか。この参加者数419名というのが多いと受けとっていいのか、地域に参加した者の数としては少ないんじゃないかというふうに思うんですけども、その辺で済みません、詳しく教えていただければと思います。

○文化・学習課参事

この件については担当いませんので、後もってよろしいですか。

○B委員

はい、済みません。

○委員長

ほかに何か御質問ございませんか。一応中間です。大体これでよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

いろいろと教育方針に従ってこのようにたくさん努力をしていただいているようでございます。本当にありがとうございます。見ながら、やっぱり子どもから大人まで教育というのは人間づくりの基本だなと思いました。この前、トルコで地震が起きましたが、トルコの地震被災者たちは東日本の地震で日本人がああいうふうに列をつくって支援物資をもらう、我慢をし助け合うという、それを見習おうと言って過ごしているということが新聞に載っておりました。本当に日本人、日本の教育というものをやっぱり大事にしていかなければいけないなという感じもいたしました。また、このようにし

て各地各町で人間教育として取り組んでいただいていること、本当にありがとうございます。

はい、馬渡部長どうぞ。

#### ○こども部長

済みません、先ほどの次世代育成行動計画を皆さんにお渡ししたいと思います。

それと、C委員さんから御質問のトムソーヤ委員会と次世代育成の関係ですけど、重複する方も何人かいらっしゃいます。次世代のほうの協議会は8名の委員で、トムソーヤのほうが21名ということで、同じ団体からそれぞれに出ている方もいらっしゃいますし、同じ方が出ている方もいらっしゃいます。

以上です。

#### ○C委員

ありがとうございました。

#### ○委員長

はい、どうもありがとうございました。

では、次に進みたいと思います。よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

次の開催は、11月18日で2時からです。よろしいでしょうか。

それで12月はまだ議会との関係もありますが、一応12月26日を予定ですが、もしかしたら議会の進み具合で早目になるかもわからないということだそうです。よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

では、そのほか何かございませんでしょうか。こども部長どうぞ。

#### ○こども部長

本日、皆様のお手元のほうにパンフレットを差し上げております。11月3日表彰式があるわけですが、その後、12時半開場で文化会館の大ホールのほうで「たけおの食育まつり」を実施いたします。いろんなところから参加の要請も委員さん方にも来ているかと思えますけれども、きょうお渡ししたのは子ども向けにパンフレットをつくりまして、各学校にお配りしているチラシでございます。11月3日に杉田かおるさんの講演会と、それからトークセッション、あと楽しい食卓の絵コンクールの優秀作品表彰など用意しておりますので、ぜひ御参加のほどお願いしたいと思います。もしできれば御家族の方、御近所の方、声かけていただければ非常に幸いです。

以上でございます。

#### ○委員長

ありがとうございました。御苦労さまでございます。

ほかにその他でございませんでしょうか。

その他で佐賀県の教育週間で武雄市内の小中学校の取り組みを一覧表にまとめてもらっておりますが、まとめればこんなにありよっとねというようにわかりまして、本当にこれはありがとうございました。それぞれのところで連携した取り組みをいただいているようでございます。ありがとうございます。

それから、これは文化・学習課のほうにお尋ねですが、区長会と公民館長さんとは大体年に1回ずつの話し合いというのは一緒になされているんでしょうか。別々なんでしょうか。この区長会というものの存在は、総務課ですか。

#### ○文化・学習課参事

市全体のですか。

#### ○委員長

いえいえ、それぞれの町ですね。

#### ○教育部長

区長会は各町定期的に、上旬にほとんど開催されています。あと館長さんたちが区長会の会議に入

られるときもあるんですけれども、地区地区のいろんな今までの伝統というか、経緯というところでもいろいろばらつきがあります。こっち側から公民館長さんぜひ入ってってくださいと言うばかりはちょっと言えない部分もありますし、区長会としては行政組織ということで、区長会といいながら連絡員の会議という形になるわけですので。ただ、連携という形でいろんな会議、集会等ある場合についての調整等は各町いろいろやっておられるというふうに思っています。

#### ○委員長

あるところで、区長会で町の何がばあしゅうこうしゅうと決めて、公民館長さんはわからなかったというようなことがあったりというようなこともあって、何かその付近、今部長さんがおっしゃったように連携でもあれば町全体の動きというのは、やっぱり公民館長さんも把握しとかなないけないし、区長さんたちもやっぱり把握しとかなばいかんやろうと思うときに……。

#### ○教育部長

今はまちづくり推進協議会という、すべてじゃないですけども、そういう、要するに区長会ばかりじゃなくてまちづくり推進協議会という組織を中心にいろんなまちづくりとか事業ですね、計画をされていて、そのメンバーの中には当然公民館長さんたちも入っておられるんじゃないかというふうに思っています。組織図等を見ればですね。当然その部分は連携はとらなきゃいかんことだし、お互いのことですから。

#### ○委員長

ちょっと知らんというようなことがあったものですから、お尋ねしています。

それから済みません、小野課長さんに、今、小中連携小中連携というばってん、何ばしよっとというような保護者さんからの見方で。というのは、勉強のつながりとかなんとかということだけれども、先生たち自身が連携ということでもで連携なのか、どこを連携なのかというとはどがんやろうかと。

具体的に例を言うと、小学校から上がってくるぎ、中学校の先生と子どもとの話が、何か急激に大人のような話ば先生方がされるから、子どもたちはそれが怖いとか、そういうふうな雰囲気。逆に小学校は、優し過ぎということはないでしょうけれども、そこからきて、そこに人間関係のギャップというのがかなりあるとじゃなからうか。その点、先生方はどがん考えとんさろうかというようなことを、またこれも保護者からの意見として出て、小中連携って何ばしよんさっとというようなことを聞きまして。

#### ○学校教育課長

各5中学校校区とも子どもたちにかかわって職員レベルの確かに研修会とか合同にやっているのはやっておりますが、まだまだ教科担任制と学級担任制の壁といたしまししょうか、それは大変大きいものがあると思います。今一つ教育委員長さん言われましたように、子どもたちに対する言葉かけ等も確かに小学校では「さん」をつけて、中学校になると急に呼び捨てにするというようなところもありますが、最近、中学校のほうも学校訪問等行きまして、何々君、何々さんと全部呼んでいる中学校もたくさんふえてきていると思います。そういう状況をぜひ学校のほうに保護者の方がお見えいただいて見ていただくという機会をさらに校長会等で指導をして御理解を図りたいと思います。それを見ていただくことによりまして、より中学校、小学校の先生方等も特にそういうことがまた意識されるんじゃないかなというような感じで思っております。

ありがとうございました。

#### ○委員長

そしたら、ほかに何かございませんでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら、これで10月の定例の教育委員会を終わりたいと思います。どうもありがとうございました。お疲れさまでした。

午後3時19分 閉会